ここ最近始まったシステムの中で、アマゾンポイントというものがあります。

これは出品者が自分の出品している商品に、価格以外にポイントをつけてお客様から買ってもらう可能性を高めるやり方です。

アマゾンポイントは対象商品のご注文時に貯まり、貯まったポイントはアマゾンでの買い物に1ポイント=1円として使えるものです。

これだけを聞くと出品者には特にメリットを感じられないのですが、実際にはつけておいた方が良い時が有りますので、その具体例をこちらにまとめておきます。

まず、アマゾンの商品にポイントが付与されている商品 の画像を見ていただきます。



この画像の、価格の下に買いてあるのがアマゾンポイント付与率です。これを貯めて1ポイント1円で買い物に使えるという事です。

ポイントのつけ方は簡単です。

出品登録する時に、したの項目に好きな数字を入れるだけです。

販売価格 コンディションに基づいた価格	新品 の最低価格	
	¥852 + ¥0 配送料	最低価格に一致
	¥ 910	
	例: 5000	
ポイント 1 <i>以上の整数</i>		%
	例: 10	

このポイントをつける理由は大きく2つあります。

①ポイントを集めている人の購買意欲を高める

これはもちろんそうですよね。同じ値段ならアマゾンポイントをつけている商品から買いますよね?

そういった人の購買意欲を高める狙いが有ります。

絞込み すべて消去	商品価格+配送料 🕏	コンディション
Amazonポイント ☑ Amazonポイント	¥ 14,300	新品
配送 →プライム無料発送	代金引換とコンビニ・ ATM・ネットバンキン グ・電子マネー払いが利用	
コンディション ✓ 新品 □ 中古品 □ ほぼ新品 □ 非常に良い □ 良い □ 可	できます。	

こちらの様にアマゾンポイントを付けている出品者に絞るチェックボックスも有りますので、アマゾンからの援 護射撃も用意されています。

② 価格調整ツールがポイントを判定できない

これはアマゾンでの出品価格を自動追跡で改定していく プライスターの様なツールを使っている出品者に対し て、追跡されない様にするためです。

こういった最安値の商品の価格を追跡して自動で変えていくツールは、アマゾンポイントまでは計算して変えていってはくれない物が多いです。

同じ価格に出品登録して、ポイントを5%もつけるとか なりの確率でカートボックスを取得できます。

商品販売単価にもよりますが、そこから上げるか下げる かはケースバイケースで検討していってください。

こういった細かいテクニックもうまく積み重ねていけば、しっかりとした売り上げの確保に繋がっていきますので頑張ってマスターしていきましょう。